LIP in HIRAKATA

ＬＩＰ（りっぷ）は、枚方市民発の
福祉・教育・文化・環境・ボランティアなどの
情報を掲載する地域密着型情報紙です。

２０１５年６月号

「避難者の声」展示の報告
3 ページに掲載

原発賠償関西訴訟の第４回公判
６ページに掲載

- ［言いたい放題！　アッキー28号（9）］　亡くした子
- 厳しい現実、このまま忘れてしまうわけにはいかない……
  東日本大震災「避難者の声」展示の報告
- シリーズ　作らずにはいられない(10) ♪
- 枚方及び近郊の難読地名と駅名(1)
- 今月の五行歌
- 「人の命」と「健康」と「ふつうの人間らしい暮らし」を求める裁判　第４回公判
- イベント紹介　編集局より／ＬＩＰ配布場所／会計報告

「**ＬＩＰ編集局**」　http://www.love-dugong.net/lip/

連絡先
メールアドレス：lip@love-dugong.net
TEL：070-5653-6913（18 時以降）　FAX：020-4665-8668
郵便振替口座　00920-8-120259（**ＬＩＰ編集局**）

LIP とは……Local Information Paper の頭文字をとったものです。

私が子どもを失ったのではない。子を亡くしたのは、私の親だ。昭和三十年代のはじめ、サラリーマンと教師であった私の両親は、一人息子を水の事故で失った。

六月中旬、小学校の代休の日、小学校二年生だった私の兄は、近所の子と池に遊びに行き、暗くなっても戻らなかった。消防団や警察が近所を捜索し、池で溺れ死んでいるのが見つかった。一緒に行った子は、自分は先に帰ったと言った。池に柵はなかったので、市の責任を問うて訴えようかと一時両親は考えたという。それに、近所の子は本当に先に帰ったのか？　しかしどんなことが起こっても、子どもは戻らない。

「子どもをください」と両親は神社に詣でた。霊界の言葉を伝える人がいると聞けば、その人を訪ねて行った。「そして、あなたが生まれたのよ」と母はよく私に言っていた。私のすぐ後に弟が生まれ、私たちは二人姉弟として育った。

祖母と五人で住んでいた生家には、台所兼居間の横に仏間があった。毎日夕食前、母は仏壇にご飯を供え、チンを鳴らしてお祈りをする。仏壇には兄の写真があった。

「お兄ちゃんの生まれ変わり」と言って育てられた私は、写真でしか知らない兄のことをよく考えた。（お兄ちゃんだったら、こういう時、どうするだろう？）利発で賢かったという兄なら、どうするだろうと考えて、自分の行動を律していたような気がする。（本当は私より、お兄ちゃんの方がよかったのかな？）心の隅がちくりと痛む。だから、いい子になりたいと思った。

言いたい放題！　アッキー28 号（9）　　亡くした子

兄が亡くなった当時、両親たちが住んでいたのは、市の飛び地にあたるところで、近所の子は皆近くの小学校に行っていたそうだ。しかし、母が教師であるため、兄だけは本来指定された遠くの小学校に行っていた。学校の友達は近所にいないので、兄は放課後母の勤務する近くの中学校まで行って、校庭で遊んだりしていたらしい。同居していた祖母は外で働く嫁を嫌い、孫の相手をすることを拒んだ。兄の亡くなった日の前夜、家族の中でいさかいがあった。「明日はお母さんの学校に行ってはダメ」。祖母からそう言われ、兄は、以前母と行った、楽しい思い出のある池に、近所の子と遊びに行った。そして、そこで亡くなった。――これは「人殺し」ではないのか。子どもらしく、私は突拍子もなく、そんなことを考えた。けれど、そんな事件がなかったら、私は生まれなかったのだ。両親が大切な子を失った、そのおかげで、私はこの世に誕生した。二律背反じみたそんな思いを胸に抱いて、ちいさな私は大きくなった。

その後私の家ではいろんなことが起こった。祖母は伯母が後を継いでいる田舎に戻り、九十九歳で亡くなった。弟は登校拒否から引きこもりとなり、母と二人で「共依存」状態となった。やがて母が認知症を発症して施設に入所、弟は支援を受けながら一人暮らしをすることになった。今では二か月に一度、母の成年後見人の立会いのもと、姉弟で母の施設に面会に行っている。兄の命日に生まれた私の長男は障害を持っているが、この六月成人になる。

長男が生まれた時、兄の命日と重なって母が嫌がるかと心配したが、そんなことはなく、初孫の誕生を母はとても喜んでくれた。少し大きくなった息子が食べこぼしをしたりして私が注意すると、「この子を叱らないで。お願いよ。私もだんだん何もできなくなってきているのだから」と言った。

だから覚悟はしていたのだが、兄のことを母が忘れてしまった時はショックだった。「え、私の子ども？　あなたと、あなたでしょう？」弟と面会に行き、母からそんな言葉を聞いた時には、信じられない思いがした。（私は、何のために生きてきたの？）そんな言葉が胸に浮かんで、自分でも驚いた。（何のために私は苦しんできたというの？　どうして忘れてしまえるの？）

そんなことを嘆いて言うと、「辛い思い出から、お母さんは解放されたのよ。よかったね」と言ってくれた友だちがいる。彼女の一人息子は事故に遭い、半年間意識不明のまま亡くなった。そんな彼女のかけてくれた言葉は、すっと私の胸におさまった。

（著者プロフィール）　アラカン主婦。家族は、夫と二人の息子。配慮を要する子の親の会や、市民活動、たまに在宅ワークなどしています。

厳しい現実、このまま忘れてしまうわけにはいかない……

東日本大震災「避難者の声」展示の報告

５月５日から10日にかけて、交野市・青年の家１階ロビーにて、東日本大震災「避難者の声」展示が開催されました。模造紙やパネルに書かれた、福島県などから関西に避難してきた方々の、生の声を伝える展示と、福島の現状を伝える写真等の展示を見た人は、216人。年配の方も多く、「私ら高齢者はいいけれど、子どもたちを守りたい」「テレビやニュースを見て知ってはいたが、改めて写真を見てショックを受けました」等感想を語ってくれました。

★概要

青年の家は公共施設で、図書館や音楽練習室などもあり、サークル活動で訪れる人も多い。そのため来場者は、別の用件で来てその場で展示に気づいたという人が７割を占めた。また、９割以上が50歳以上の人たちだった。

「自主避難者」とは、避難指定区域（いわゆる強制避難地域）外からの避難者のことです。避難指定区域避難者と異なり、自主的な避難とされるため、経済的支援が十分に与えられていません。

旧ソ連最悪の原発事故の後定められた避難基準であるチェルノブイリ法では、5ミリシーベルト以上が強制避難で、1ミリシーベルト以上5ミリシーベルトの区域には「避難の権利」が与えられ、避難するかしないかは個人の選択に任されています。そして、いずれにしても経済的補償が与えられます。

日本でも「子ども・被災者生活支援法」が2012年5月に成立し、自主避難者に選択の権利を与えようという動きがありました。が、2012年12月の衆院選挙で自民党が勝利し、安部政権が成立して以降、法案を骨抜きにする動きが強まり、2013年秋の閣議決定で、自主避難者に避難の権利を与える動きは、完全に頓挫してしまいました。

現在、年間20ミリシーベルトまでは避難解除で、戻らない人には何の援助も与えないというむごい仕打ちを打ち出そうとしています。

展示物は「東日本大震災避難者の会 Thanks & Dream」（サンドリ）が３月に梅田で展示した避難者の声を集めたものを中心に、放射能汚染の状況の解説、福島の汚染地域の被害写真、避難者の森松さんらの体験を聞いた大学生の感想、サンドリのさまざまな活動紹介、原発賠償訴訟紹介や傍聴の呼びかけなどであった。特に今回は、飛田晋秀氏の「福島のすがた」の写真展とも合体し、迫力ある展示が実現できた。

アンケート回答者の９割は自主避難者の存在を知っていた。おそらく知っていた方のほうが、展示を見たり、アンケートに答えてくれる割合が高かったと思われる。

回答者の多くは「一応知っているつもりではいたが、今回、写真や被災者の手記を見て想像以上の状況にショックを受けた」などと述べている。マスコミがあまり報道せず、風化が進むことへの懸念の声もあり、「事実を知らせる展示を今後も続けて……」とエールを送る言葉も多く寄せられた。

★アンケート回答者：62人　（来場者の29%）

男女別　　男26人　女29人　不明7人

年代割合　70歳以上が41%、60代が30%、50代が20%、40代が5% 、30代以下5%。

50代以下では女性が、70代以上は男性がよく回答し、60代では男女拮抗している。

今回に引き続き、同様の展示を８月４日（火）～９日（日）に、青年の家で行う予定です。

（「Thanks & Dream」サポーターズ in 交野　藤岡）

人類は“作る”動物だ。石器時代から営々と、自らの手を使い、様々なものを作り出し続けてきた。あふれるほどのモノたちが簡単に手に入る文明の時代に生きる私たちだが、ふいに先祖返りのように“作る”衝動におそわれるときがある。
このシリーズは、そんな「作らずにはいられない」、ひとりの男の記録である。

シリーズ『作らずにはいられない』（１０）

＝＝ お金のかからない趣味と、地域への関わりと、地域貢献を一度に手に入れる方法

わたしは、お金のかからない趣味と、地域への関わりと、地域への貢献を一度に手に入れる方法を発見しました♪　これは、２１世紀の日本社会にとって、画期的な発見であると思い、ここに公表するものです。

わたしたち市民ひとりひとりも、企業などで働く者であると同時に、家庭を築いて子孫を残し、地域コミュニティの一員として、地域社会を構成しています。企業の社員としての役割も、家庭人としての役割も、地域社会の一員としての役割も、どれも果たしていくことが求められるのですが、現代社会においては、なかなか困難なことです。

しかしわたしは、長くなったサラリーマン生活を送るうちに、地域社会の一員としての役割を果たし、地域にある程度の貢献をしていく方法を発見しました。しかも、それを無理なく持続可能な方法としてお金のかからない趣味という形で実現していく方法です。

うちの子どもが小学生だった時に、学校行事で子どもたちを遊ばせるために「巨大しゃぼん玉」遊びを考案し、いろいろ工夫して遊びのノウハウを確立しました。これは、家庭人として、自分の子どもを遊ばせるとともに、地域社会の一員として、近所の子どもたちも一緒に遊ばせるものです。同時にそれは、わたし自身の趣味であり、娯楽ともなりました。子どもらと一緒に遊ぶのは、ストレス解消には最適な方法だということもわかりました。

わたしのこの趣味兼特技は、地域で口コミで知られていき、いろいろなところから、依頼が舞い込むようになりました。依頼されてしゃぼん玉遊びを行うようになったわけですが、そうすると、遊びの材料は、依頼者側から提供してもらえます。遊びの場も、用意してもらえます。

結果、わたしは、材料無料で子どもらと遊ぶ場を提供してもらい、年に何度も遊べるようになったわけです。わたしにとっては、自分の趣味で遊んでいるだけです。タダで遊んでいるだけで、地域のつながりと、地域への貢献（ボランティア＝ボランティアだとはわたし本人はまったく思っていませんが）もできてしまうという、商売で言えば「三方よし」のような、とても都合のいい仕組みができてしまったわけです。

こういう仕組みを考案していけば、住みにくくなったと言われる最近の日本社会も、少しは住みやすくなるのではないかと最近思っています。

こうなったのは、最初から計画的に実現したのではなく、なんとなくおもしろくなって、趣味としてのしゃぼん玉を続けていた結果でした。しかも、これはこれで完結したわけではなく、しゃぼん玉を通じて知り合った人たちから、いろいろ頼まれてやっているうちに、「ポン菓子屋さん」や「手製本屋さん」などにも発展しました。

どちらも依頼されてなんとか工夫してやっているうちに、ノウハウも蓄積され、さらに依頼が舞い込み、それが口コミで広がってまた新しい依頼が舞い込み、知り合いも増えていき、また口コミで広がっていく、という、意図せず自動的にできた「趣味」です。
今後はこんな趣味をわかちあえる仲間もほしいと思ってます。いっしょに遊びたい方、おられませんか？

（ＬＩＰ編集局　わたなべ）

★ポン菓子屋さん出没情報★
６月２０日（土）御殿山フェスタに出店します♪　御殿山美術センター１０時～

枚方及び近郊の難読地名と駅名（１）

過去２回に亘って、今では使わなくなった“浪華ことば”の解説をしました。今では使われなくなっている“浪華ことば”は未だ色々と有りますが忘れられている言葉をくどくどと解説しても面白く無いと思います。

そこで次はどの様な話題を書けば良いかと話していましたら、その地方の人々には読めますがそうで無い人には読めない地名や駅名を調べて見ても面白いのでは無いかと言われました。

そこで私の手元に友人が作成された『雑学シリーズ……難読駅クイズ』と『近畿地方の難読地名一覧』と書かれたものが送られて来ております。これらはＰＣのインターネットで得られた資料ですが、私の友人が色々と加工して我々にも判りやすく編集してくれたもので、私達にも判りやすく又面白く読ませてくれています。

両者ともその資料の数は相当なものですが、漢字、読み方、地方名が書かれているだけですので、その中から枚方及び近郊の私達に身近な地名を取り出し、何故その様な地名になったのかなどを別な資料で調べて紐解いてみたいと思います。

私達の周りを見てみても、

・枚方（ひらかた）の、禁野（きんや）、蹉跎（さだ）、招提（しょだい）。

・交野（かたの）では、私市（きさいち）、私部（きさべ）、郡津（こうづ）。

・寝屋川でも、太秦（うずまさ）、木屋（こや）、点野（しめの）

・大阪市の放出（はなてん）

など私達が住んでいる所だけでも十や二十は直ぐに書く事が出来るでしょう。この様に難読・難解な地名の多いのは、古くから開けた所に多いと思います。これらは古くから呼ばれていた地名に漢字を当てた、言い換えれば当て字の世界だと思います。

皆様もご存じの通り、漢字は中国から来た字であり、我が国には字はありませんでした。古事記、万葉集は当時の言葉を漢字の発音で表した万葉仮名で書かれている事は学校で習いましたが、その考え方は今もあり、言葉に漢字を適当に当てる事が行われています。

われわれの先祖は漢字の発音を上手く利用して言葉に合う仮名文字を作りました。此の発見は我々日本人にとっては世紀の大発見だったと思います。それが無ければ未だに古事記や万葉集の如く漢字の発音を上手く探し当てて文章を書いていたでしょう。万葉仮名を紐解いてみても、（あ）という漢字は安、阿、愛、亜、悪、と五つあります。（か）に至っては１３もありますから五十音では相当の数になるでしょう。それを総て覚えるのは大変な事です。

日本語の仮名で発音されている言葉を漢字で表す場合に多くは決められた漢字で書きますが江戸時代では別に絶対なもので無く、発音が合っていれば認められる事もありました。

漢字の読み方も寝屋川の仁和寺（にわじ）が京都に行けば仁和寺（にんなじ）に成ります。いつ頃から言われているのか、なぜ違うのか今では判っていませんが、現時点ではっきりしている事は漢字が同じで読み方が異なると異なった場所を指示しているという事です、これなどは日本語の面白い所であり難しい所だと思います。

先日私は『大阪の地名由来辞典』なるものを手に入れました。これは大阪府下の地名を大阪について色々研究されている方々に解説を書いて貰って、それを編集されたものです。大阪の町名については古いものでは『大阪の町名』大阪町名研究会編、や宮本又次氏の『きた』『みなみ』『てんま』など非常に詳しいものがありますが、それらは大体大阪市内が中心で大きく府下に渉ってのこの種の本は余り見かけません。私の知っている限りでは今回の『大阪の地名由来辞典』が珍しく面白いのでは無いかと思います。

そこで次回から『雑学シリーズ難読駅名』や『近畿地方の難読地名一覧』から地名を抽出し、『大阪の地名由来辞典』を参考にして、その由来を書いて見たいと思います。例えば枚方、交野、私市、郡津、広くはあの有名な放出（大阪市）、河堀口（大阪市）などを取り上げて見たいと思っております。お楽しみに（おしまい）

小田川徳男

LIPが選ぶ

今月の五行歌

「シランって花
あるんやって」
「シラン
知らんかったん
知ってたで」

ちえこ

天然よりも
野生であれ
草食系でも
きみは
動物

さなぎ

青空の下
萌木色の街並み
カラフルなつつじ
まるでパステル画の世界
心に焼き付けたく目を　閉じる

えみこ

【五行歌ひらかたミニ歌会】
☆毎月一度月曜日午前10時半～12時半、メセナひらかた諸活動室で集まっています。
問合せ　akkie.toyotaka@gmail.com
または、090-5893-5635（とよたか）まで

「人の命」と「健康」と「ふつうの人間らしい暮らし」を求める裁判
原発賠償関西訴訟の第４回公判の傍聴に行きました。

５月28日大阪地方裁判所で、原発賠償関西訴訟の第４回公判が行われました。この裁判は、2011年３月の福島原発事故で関西に避難してきた人たちが、国と東電に対して、被害の完全賠償をさせること、事実関係を明らかにして、事故の真相究明を行うことを、訴える裁判です。傍聴希望者は92人。午後１時半までの傍聴整理券配布終了ぎりぎりに駈け込んだ私は、運よく抽選にあたり、２時からの法廷に入ることができました。

４月の異動で２人の裁判官が交代したため、改めてということで、まず原告２名による意見陳述。夫の故郷の浪江町に戻って小規模デイサービスの事業所を開始しようとしていた矢先原発事故で町には戻れなくなったというお話、相馬市から滋賀県栗東町に避難してこられた男性のお話。現在80世帯221名の原告団の一人一人に、それぞれ異なる事情があり、語るべき多くのことがあるのです。続いて、原告代理人より、以前主張した被害の概要を、パワーポイントで簡潔にまとめた説明がなされました。今回法廷に提出された準備書面は原告から８通、被告の東電からは２通。被告側からの発言は特になく、次回期日を確認して、閉廷しました。

一方、裁判所から近いＡＰ大阪淀屋橋４階では、法廷とほぼ同時進行で模擬法廷が開かれました。閉廷後は同じ会場で報告集会が開催され、原告や弁護士の方からの発言を聞き、また５月24日福島県二本松市で結成された「原発事故被害者団体連絡会（ひだんれん）」の方からの挨拶もありました。最後に弁護団代表からの挨拶で、「時間の経過」について語られました。時間が経過して事故の記憶が風化していくことと、一方で、事故にまつわるさまざまな事実が新たに明らかになってきているということ。「これから同じようなことが起こらぬよう、一緒に闘ってください」という原告の方の言葉をかみしめて、次回７月30日午後２時からの裁判傍聴に、必ず行こうと思いました。　（とよたかあきえ）

イベント・サークル・ボランティア情報

プロに聞く！相続税・後見制度・遺言について

相続税改正のポイントと注意すべき点や成年後見制度と遺言の使い方を税理士と司法書士がやさしく解説します。
■日時：7月4日(土)10時～13時
■場所：ラポールひらかた
■参加費：1000円（当日会場にて）
■申込・問合：（特活）北河内ボランティアセンター
■TEL/FAX：072-848-4166
Email：npo-kvc@kit.hi-ho.ne.jp

「知的障害者」を普通高校へ北河内連絡会
６月定例会のご案内

日時：６月２７日（土曜日）　午後１時半～４時半　定例会
　　４時半～５時　　事務局会議・個別相談
場所：ラポールひらかた　４階　研修室４
内容：
①１学期の学校生活などの交流（小・中・高など）
　高校を卒業してからの日々の生活の交流
②今年度、高校受験するにあたって、情報交換
③「医療的ケア」の要る生徒・子どもを巡って
④９月の北河内の「学習会」（府教委が参加する）を巡ってお誘いあわせの上、ふるってご参加をお願いします。
＊連絡先　080-1463-1120(新)090-1960-3469(松森)

子どもに真実と希望を語る教科書を！第２回枚方市民の集い

・日時　６月１３日（土）午後２時～午後４時
・会場　サンプラザ生涯学習市民センター　５階
・主催者　教科書問題を考える枚方市民の会
・連絡先　０９０－２１１０－６５４７（松下）
・資料代　　５００円
・来年度から使用する中学校の教科書の改訂の年で、教科書展示会が６月１９日より教育センターで実施され、７月の教育委員会会議で決まります。より良い教科書が選ばれるよう市民の側から呼び掛け、行動しましょう。

第１３回　愛しの植物画展　トークイベント

■６月２８日（日）14:00～14:40
山口道子氏による「万葉の歌にみる花々」
■６月３０日（火）14:00～14:40
有馬忠雄氏による「ナチュラリストからのワンポイントアドバイス」
場所：くずはアートギャラリー
　京阪樟葉駅前・本館ハナノモール３Ｆ

父さん母さんへ！食の講座　新型栄養失調

■日時　６月２０日（土曜日）１３:３０～１６:００
■会場　メセナ枚方　視聴覚室
■連絡先　谷村清美
050-7100-2408　info@capirabi.com
■参加費　一般前売り　2500円　当日3000円　マタニティさん500円引き　学生前売り　500円　当日1500円
・知っておきたい新型栄養失調。キレやすいのはミネラル不足！？
・新型栄養失調＝飽食時代の栄養失調
・食べているのに栄養失調になっている
・中戸川　貢さんのだれにでもわかりやすい大切なミネラルとミネラル不足の話

放課後クラブ「チャレンジ・キッズ」情報交換・交流会

■日時：６月10日，７月８日，９月９日，10月14日
　11月11日，12月９日　（水曜日）　10：30～お昼過ぎまで
■場所：ラポールひらかた
■参加費：無料
子どものこと、学校のこと、高校進学、勉強や家庭での時間の過ごし方について、気になることはないですか？　元教員の支援者の助言を得て、お母さんたちどうして語り合いましょう。
問合せ：c-k@love-dugong.net または、
　090-5893-5635（とよたか）
★予定変更の場合があるので、必ずご連絡ください。

★音楽でリフレッシュ！

快い音でゆったりとした楽しい時間を仲間と一緒に思いっきり声を出して心身共にリフレッシュしませんか？
日時：６月７日（日）14：00～15：30
場所：サンプラザ生涯学習市民センター　５階　視聴覚室
日時：６月24日（水）10：00～11：30
場所：牧野生涯学習市民センター　２階　音楽室
※参加費：500円（初回無料）
申し込み・問合先　音楽でリフレッシュ！　　担当：中嶋
　ＴＥＬ：０７２－８４０－５４９３

お茶の間カフェ♪ in 五六市(三矢会館2階)

とき：6月14日(日)11時～14時
ところ：三矢会館　２階　（枚方市三矢町６－10）
◎ほっこりカフェ♪◎
　こだわり素材のシフォンケーキセット　350円
◎パステルアート体験◎　by happysachi
　参加費：500円　所要時間：約15分
◎小さな絵本ＳＨＯＰブックプランター◎　by 絵本講師
　絵本大好きなスタッフが楽しい絵本をたくさん用意してお待ちしています♪
◎アナログゲーム体験◎　by おもちゃコーディネーター
開催時間：13時～14時(2～5人で対戦ゲームをします♪)
参加費：1人200円(4歳以上。4歳未満は保護者同伴。60分間)
※問合せ＆予約は[あそび発信☆ぽぽネット]
　tanpopodan2010@yahoo.co.jp
　　企画：ひらかた子育て支援ネットワーク

☆== ひよママのママフェスタ 2015夏 ==☆
(第9回ひよママの手づくり市&バザー)

とき：2015年7月3日(金)10時30分～14時
ところ：尊延寺老人集会所1階大広間(和室)
　（枚方市尊延寺3-6-1）
マイバッグと小銭のご持参にご協力ください♪
☆プチおもちゃライブラリー＆プチ販売♪(10:30～14時)
　協賛：絵本と木のおもちゃの専門店「キッズいわき ぱふ」
☆ミニライブ♪ママさんゴスペルサークル「ごすぺりんこ」11時30分～約15分間♪
☆バザー　子ども服リサイクル、子ども用品、日用品など
☆手づくり市ブース　作品&体験☆　　10時30分～
※車の方は、地域集会所駐車場、ちびっこ広場（臨時駐車場）をご利用ください♪
主催:ひよ&ママ☆ネットワーク
(参照HP「ぴよぴよピッピ」で検索)
問合せは→ひよママお問い合わせフォーム
http://form.mag2.com/qiouofroum

【参加者募集】　ひらヨガ@枚方河川公園

日時：６月14日（日）9：30～10：20　（9：20集合）
場所:枚方河川公園　淀川資料館から土手を斜めにおりたところ。のぼりを目印にお集まりください。
内容：感じるヨガ　　担当：Shoko
持ち物：ヨガマットまたはレジャーシート、水分、汗ふきタオル、日焼け防止グッズ
参加費：運営協力金100円～　でご参加いただけます。
＊日差しが強いことが予想されます。充分な日焼け対策をお願い致します。
＊雨天中止です。中止の場合当日８時半にホームページで掲載しますのでご確認ください。
＊ご予約・ご質問は、電話：072-845-5990、または
Email: hirayoga@yahoo.co.jpまで。
共催：特定非営利法人・ひらかた市民活動支援センター
ひらかたハートセラピー協会
ＹＢＣ(笑)-スポーツ応援クラブ-
ビジョンヨガ枚方

＊＊＊無添加石けん商品・手作り作品販売のお知らせ＊＊＊

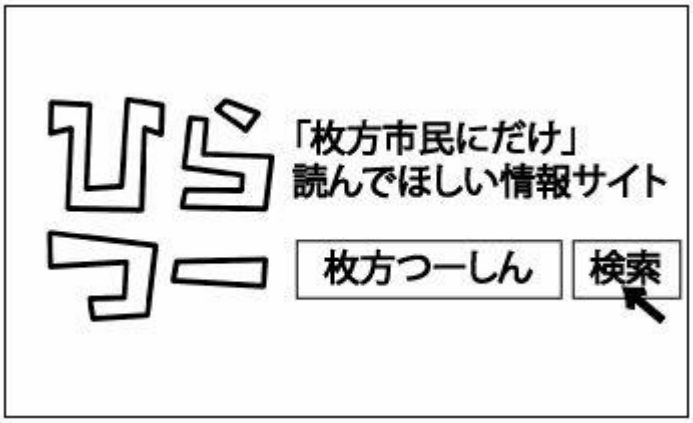
6/1(月).6/15(月).7/6(月).7/27(月)
バザー:市役所前にて　10時～
6/7(日)ふれあいフェスティバル:岡東町公園　10時～
6/20(土)御殿山フェスタ
御殿山生涯学習美術センター10時～
6/28(日)みなよし手作りマーケットわいわい広場
香里ヶ丘3丁目　10時～
皆でお待ちしております！お近くへお越しの際は是非いらしてください＾＾！

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

障害者労働センター　　枚方市中宮山戸町10-12-101

■ぼちぼちバザール■

寝屋川市内の福祉団体や市民活動グループの方々との交流バザー（リサイクル品、手作り品などの販売）
日時：２０１５年7月5日（日）AM10：00～PM１：00
場所：寝屋川市立総合センター　1階
参加費：無料
<問合せ・連絡先>寝屋川市民たすけあいの会
〒572-0061寝屋川市長栄寺町５－１
TEL：（０７２）８２６－４６５５
FAX：（０７２）８３８－８０３２
E-mail：nc4@nifty.com
http://neyagawatasukeai.org



応援ありがとうございます！

ＬＩＰ応援団

関山域子さん　匿名さん

ＬＩＰ会計報告（前号以降）

金額(円)	内容
75,343	前号から繰り越し
2,000	応援団寄付
▼440	郵送代
▼500	５月ロッカー代
▼4,210	５月号印刷代
69,193	計（次号へ繰り越し）

■２月号に掲載された、宮崎隆太郎さんを追悼した『言いたい放題！　アッキー28号(7)』を読んだと、読者の方から感想をいただきました。

「宮崎先生のことは、子育ての間に通信制の大学で学んだ際に、保育や教育の本を書いておられる、市内に在住の方だと名前を知っていました。
その後上の子が小学生の頃、子育てに悩んで、市内の小学校で宮崎先生が相談にのってくれるとお友達に教えてもらい、下の子も一緒に、母子三人で相談に行きました。話を聞いてもらい、「大丈夫ですよ、お母さん。子どもの力を信じましょう」と言われて、（ああ、このまま、母をしといたらいいんや）とほっと安心して、ものすごくうれしかったです。
11月か12月の寒い時でした。帰りに焼き芋を道で売っていて、子どもにせがまれ、普段なら買い食いなどさせないのに、その日は焼き芋を買い、子どもと一緒に食べました。焼き芋はあたたかくて甘くおいしかった、それは先生にもらった言葉のあたたかさうれしさがあったからだと思います。
先生との出会いはその一回きりでしたが、誰かからもらった一言で、心が救われるという体験をしました。忘れられない人です。

■昨年、手作り極少出版で発行した「天正の謎」という時代小説が、装いもあらたにホンモノの出版社から発刊されました！（つげ書房発行、定価１８００円）　カバーには、瀬戸内寂聴さんの「大変面白く、一気に読み終えました」という推薦文が載ってます♪　ぜひ、本屋さんで手に取ってみてください。　（w）

イラスト　表紙：平井由恵